

REPORT

初の「写経会」

平成24年2月11日(土)

2月11日午後3時から、第1回「写経会」が行われました。最初に護持会研修委員長(兼副会長)波田野章氏が挨拶、続いて安本住職様が配布資料をもとに、「平清盛」(NHK大河ドラマ放映中)が1167年(仁安2年)に厳島神社に奉納した『平家納経』(完全復元)を示しながら説明されました。その後、写経が始められ



古写経各種断片 (12種)



平家納経 (上) と各種古写経



本堂にある掛け軸「大涅槃図」

2月15日はお釈迦様がインドのクシナガラでのご成道の地にお亡くなりになられた日です。午前10時に本堂右側に掛けられた、お釈迦様が涅槃に入られたありさまを描いた大きな掛軸「大涅槃図」の前で、報恩の法要「涅槃会」が行われました。

涅槃会法要

平成24年2月15日(水)



大本山永平寺法堂での23回忌法要 (2月13日)



当山本堂での23回忌法要

今回23回忌法要後、東日本大震災で被災された元萬福寺安居の水井祐道老師(宮城県石巻市・松巖寺)ご住職、村上晃嗣老師(宮城県多賀城市・玉川寺)ご住職から義援金等に対する御礼の言葉がありました。また、ご供養に際し曹洞宗留音会の3名による雅楽の奉奏が演奏されました。(住職 安本利正)



御導師・小坂老師 (左) と当山安本利正住職

23回忌法要

大本山永平寺

大本山永平寺から2月13日に本山で廿五世法幢開闢道玄太準大和尚23回忌法事を執り行う旨の通知を頂きましたが、当山でも行いますので出席できません。そこで供養料をお送りいたしましたところ、御供物と当日の写真(左・2枚)を賜りましたことをご報告させていただきます。(萬福寺)



廿五世太準大和尚



御導師・小坂機融老師

萬福寺 廿五世法幢開闢道玄太準大和尚様

2月13日、当山23回忌御正當法要

2月13日午前11時から本堂で、先代のご住職・萬福寺廿五世法幢開闢道玄太準大和尚様の23回忌御正當法要が行われました。

御導師は大本山永平寺東京別院監院・港区の泉岳寺ご住職 小坂機融老師が務められ、萬福寺ゆかりのお寺から総勢50名の僧侶が集い、そのうち17名は昭和40年以後の安居者(勤務者)であり、旧恩を語りつつ行事が進行しました。それに現役員40名と親族手伝い等19名が加わり小規模の予定も100名を超えてしまいました。計画当初よりなるべく縮小の予定でありましたから、檀家で懇意の方々をお呼びしたかったのですが、御案内せずに失礼いたしました。

故廿五世太準大和尚は明治32年鳥取県に生まれ育ち、近くの菩提寺へ遊びに行き手伝いながら弟子入りし、修行を積んで大正10年23歳で神奈川大蔵の東昌寺へ住職し、15年神奈川県秦野の太岳院へ転住した。昭和13年神奈川県第三宗務所長に当選し、活躍した。17年東京萬福寺へ本山特命住職として就任し整理復興に勤めた。

19年晋山式、20年英霊供養、23年別格地界格記念、31年本堂屋根替落成式、45年本堂庫裡改修記念、57・58年・59年妻密葬、本葬、一周忌、三回忌の4度奉安の導師を受け、61年萬福寺八百年記念に丹羽禪師、合計永平寺禪師を10回拝請している。

平成2年2月13日心不全で遷化し寿92歳であった。本葬仏事師 丹羽禪師、宮崎安保副貫主、余語最乗寺山主によつて3月30日に本葬儀が桜花の散る中で挙行された。